

【目標】

◆「家庭分野の目標」

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを旨とする。

【3年間の学習内容】

「家庭分野」

A 家族・家庭生活

B 衣食住の生活

C 消費生活・環境

【評価の観点・方法】

(1) 「知識・技能」

実践的・体験的学習活動を通して、基本的な知識を身につけているか、生活との関わりを理解できているか、定期テスト、レポート、実習や作品などで評価します。

(2) 「思考力・判断力・表現力等」

設計や製作活動における既得の知識・技術の活用状況や生活を工夫したり創造したりする能力を実習作品、レポート、定期テストなどで評価します。

(3) 「主体的に学習に取り組む態度」

単にノート提出や授業態度といった情動的側面や知識・記憶を問うものではなく、製作実習やプレゼンテーションなどへの知識・表現力・思考力等の応用や作品形状や方法の改善、実際の場面での課題解決の力について毎時間の学習の取り組み状況、実習課題、レポートなどで評価します。

※ 通知表の評定について

上記の3観点における到達度の合計により、総合的な到達度として各学期と学年末に5段階評定を行います。各観点の比重は均等とし、その到達度は通知表にABCで記載されます。

観点別評価ABCの定義

- A 「十分満足できる」状況と判断されるもの
- B 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
- C 「努力を要する」状況と判断されるもの

- 5 「十分満足できる」状況と判断されるもののうち特に程度の高いもの
- 4 「十分満足できる」状況と判断されるもの
- 3 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
- 2 「努力を要する」状況と判断されるもの
- 1 「努力を要する」状況と判断されるもののうち一層努力を要するもの

家庭分野 第2学年 指導・評価計画

	学習指導要領の項目	学習活動	評価項目
1 学 期	<b>B 衣食住の生活 【食生活】</b>		
	<u>(1)食事の役割と中学生の栄養の特徴</u>		
	ア 生活の中で食事が果たす役割について理解すること。	ワークシート	知・思
	イ 中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解すること。	ノート ワークシート	知・思
	ウ 健康によい食習慣について考え、工夫すること。	ノート ワークシート	思・学
	<u>(2)中学生に必要な栄養を満たす食事</u>	ノート	
	ア 栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解すること。	ワークシート	知・思
	イ 中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解すること。	ノート ワークシート	知・思
	ウ 中学生の1日分の献立について考え、工夫すること。	ノート ワークシート ノート	思・学
		期末考査	知・思・学
2 学 期	<u>(3)日常食の調理と地域の食文化</u>	夏休みの課題	思・学
	ア 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできること。	ワークシート ノート	知・思
	イ 食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできること。	日常食の調理実習 ワークシート	知・思・学 知・思
	ウ 材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできること。	ノート	
		期末考査	知・思・学
3 学 期	エ 地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできること。	冬休みの課題 日常食の調理実習	思・学 知・思・学
	オ 日常の1食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫すること。	ワークシート ノート	知・思
		期末考査	知・思・学

